

三和区

『第55号 2024.7』

地域協議会だより

発行：三和区地域協議会
編集責任者：三和区地域協議会
会長 高橋 鉄雄
編集委員：宮嶋 久登
茂木 知絵
渡邊 正芳
事務局：三和区総合事務所
(総務・地域振興グループ)
TEL 025-532-2323
FAX 025-532-2623
sanwa-ku@city.joetsu.lg.jp

地域協議会委員に任命書が交付されました

5月8日リージョンプラザ上越で、新たに選任された28地域自治区の地域協議会委員へ任命書が交付されました。三和区では五十嵐委員が代表し、交付を受けました。

地域協議会は、地域の課題解決や活性化に向けて取り組むほか、市長から意見を求められた案件（諮問）について話し合い、その結果を返す（答申）役割等を担います。

なお、委員の任期は令和6年4月29日から令和10年4月28日までの4年間です。



▲ 任命書交付式の様子

新委員による初めての地域協議会を開催



5月23日に新たな委員による初めての地域協議会を開催し、会長に高橋鉄雄委員、副会長に龍池麻耶委員が選出されました。

会議では、三和区地域協議会の運営等について協議しました。

◀ 地域協議会委員

高橋 鉄雄 会長 （今保）

膨大な情報空間に生きていることで逆に幸福感や希望が見えにくくなっている今日、何気ない日常を今一度見つめ直し、共存、多様性を大切にしながら地域住民の幸福度を高める努力が必要であると考えます。まずは、協議会運営において、関係性を重視したチームづくりを行い、話し合いを重ね、アクションを経て目標を達成し、さらにより良い関係を構築していく覚悟です。ゆったりと穏やかな時間の流れる故郷であることを願いながら。



▲高橋会長(左)と龍池副会長(右)

龍池 麻耶 副会長 （岡田）

この度委員の皆さんに推薦していただき、副会長を務めることとなりました。

私は子育ても仕事も現役真っ只中にいます。多くの子育て世代の方がそうであるように、子供達が生活の中心であり、毎日があっという間に過ぎていきます。子育てにも仕事にも現役であるからこそ見えてくる疑問や、「もっとこうできないだろうか」という思いを提示し、解決する道筋を考えていきたいと思っています。そして現在・未来の子供達のために今できることに取り組みたいです。

五十嵐 隆一 委員 （田）

今回新たに地域協議会委員に選出されました五十嵐です。何もわかりませんが、少しでも地域の皆様の役に立てればと思っています。これから試行錯誤を繰り返しながら進みたいと思いますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

池田 輝幸 委員 （日和町）

地域協議会委員としての2期目が始まった。何ができ、何をしなければならないか曖昧な面はあるが、あがってくる課題に対して意見が出せる唯一の場所でもある。本来ならば、若い人が積極的に意見を出せる場所であればいいのだが、仕事や家庭のことで委員になれない人も多いのだろう。だからこそ、時間のとれる我が身を使い、地域を廻ることも委員2期目として必要になるのかもしれない。

江口 晃 委員 （越柳）

先日、三和区地域協議会発足当初の平成16年度第1回地域協議会（平成17年2月27日開催）の内容が放送された『さんわ8チャンネル』の映像を見る機会がありました。当時委員になられた方々の思いが今の地域協議会に受け継がれていることを感じると同時に、地域の課題が大きく変化する中で地域の安心安全を守る活動、自然環境や歴史文

化を守る活動、地域の魅力を発信する活動の必要性を強く感じています。

星野 幸雄 委員 (神明町)

ここ三和は、自然豊かな地域で暮らし・観光などの魅力が豊富な所です。この発展を考えた時に、「① 広域に三和区を考える」「② 地域の自然災害を考える」。特に災害が発生した時には全ての環境が復興優先活動になることが災害の常です。災害は防げません。ですが被害を少なくすることは出来ます。三和には高田平野東縁断層帯（阪神淡路大震災と同規模）があります。災害を想定して委員と微力ですが対策を考えていきたいと思えます。

牧井 雅英 委員 (神明町)

三和区は、上越市の真ん中に位置している地帯です。住民の生活を支え、三和区的生活環境を維持・発展させていくために、自らの地域の問題を提起し、委員の皆様が胸襟を開いて話し合い、魅力あふれる活気あふれる地域、そしてもっともっと住みやすい「三和区」になるように取り組みます。そして、あいさつは人間関係の基本。あいさつは誰でも誰とでもできる。あいさつは人と人をつなぐ魔法の言葉。「おはよう」から始まる良い一日にしましょう。

松井 隆夫 委員 (沖柳)

引き続き4年間お世話になります。再度応募の動機は、「地域の元気づくり活動の実践にチャレンジ」と「歴史文化と自然環境、景観がマッチングした点から面への地域づくり」の2つです。これらに少しでも近づければとの想いです。

地域協議会の主な役割は、「(1) 諮問事項、自主的審議事項の内容検討と協議」、「(2) 地域課題の解決や活力向上への取組」、「(3) 地域住民や活動団体との意見交換の場づくり」等々。区民皆様のお力添えをいただきながら頑張っています。よろしくお願ひします。

松栄 由里 委員 (島倉)

『集いやすく、帰りも楽々!』三和区では、「上越市のちょうど真ん中」という地の利を生かした様々な取り組みが盛んです。新米委員の4年間、意識的に情報を取り入れ、聴き、学び、動くように心掛けました。すると、気づかなかった「三和の魅力」にどっぷり浸かることができました。2期目にあたり、三和区が魅力的でかつ安心できる地域になるように、委員の皆様と議論を重ね、よい方向を探っていきたいと思っております。

宮澤 克己 委員 (本郷)

私は委員として2期目になりますが、1期目の4年間で三和区の現状や課題等を少しですが理解しました。三和区は今後小学校の統合もあります。少子高齢化は益々進むと

思われますので、高齢者が住みよい環境づくり等が今後の課題の一つだと思っています。今期は上記課題を含め、三和区の未来像等を他の委員の皆様と考えていただければと思っています。

宮嶋 久登 委員 (末野新田)

初めて委員に選任されました。よろしく願いいたします。

上越市の中でも、美しい里山と田園風景をそなえた風光明媚な三和区が大好きです。しかしながら、各市周辺区域同様の少子高齢化による急激な過疎化の波が押し寄せ、景観維持や地域活動に支障が生じているように感じます。地域の課題について地域協議会委員の皆さんと活発に協議し、解決策を導きだせるよう努めたいと思います。

茂木 知絵 委員 (大)

今期、初めて地域協議会に参加させていただくことになりました。特別な力があるわけではありませんが、その分、常に普通の住民感覚を忘れず活動していきたいと思えます。子供も大人も年齢や性別に関係なく「三和に住んでいて良かった！」と思えるような地域づくりができるよう、地域協議会の諸先輩に学びながら精一杯努めさせていただきます。これからの4年間、どうぞよろしく願いいたします。

渡邊 正芳 委員 (錦)

令和3,4年度は、地域協議会の傍聴を数回させていただき、いろいろな意見を拝聴することができましたが、5年度は都合がつかず皆無となってしまいました。このため、思い切って地域協議会の一員に加えていただき、委員の手引きにある会議の心得5カ条を遵守し、新たな視点から地域の課題解決に取り組んでいけるよう努力したいと考えております。

この度、共に選任された飯田英利 委員 (川浦) が、5月26日にご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

※現在、定数14名のところ13名となっています。

編集後記

4年毎の改選により、新任6名を含む新たなメンバーでの活動が始まりました。上越市合併から20年を迎える中、地域協議会の在り方そのものも変わっていかうとしています。今後の地域自治とはどんなものか。何をやっていくのか。「地域協議会だより」が、その活動をできるだけ分かりやすくお伝えする媒体の1つになればと思います。

編集委員 茂木 知絵